



平成27年4月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年3月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社トーシン

コード番号 9444 URL <http://www.toshin-group.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石田 信文

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 江本 健一

TEL 052-212-5000

四半期報告書提出予定日 平成27年3月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年4月期第3四半期の連結業績(平成26年5月1日～平成27年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年4月期第3四半期	19,227	△5.0	138	△67.8	98	△75.0	21	△90.9
26年4月期第3四半期	20,236	0.2	429	△23.3	395	△22.1	231	△33.0

(注) 包括利益 27年4月期第3四半期 9百万円 (△95.8%) 26年4月期第3四半期 232百万円 (△35.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年4月期第3四半期	3.33	—
26年4月期第3四半期	36.51	—

(注) 当社は、平成25年11月1日付けで普通株式1株につき、普通株式10株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年4月期第3四半期	15,768	3,205	20.2	502.88
26年4月期	15,711	3,310	21.0	521.39

(参考) 自己資本 27年4月期第3四半期 3,180百万円 26年4月期 3,297百万円

(注) 当社は、平成25年11月1日付けで普通株式1株につき、普通株式10株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産金額を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年4月期	—	100.00	—	10.00	—
27年4月期	—	10.00	—	—	—
27年4月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成25年11月1日を効力発生日として、1株につき10株の割合で株式分割を行っております。

3. 平成27年4月期の連結業績予想(平成26年5月1日～平成27年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,587	△5.8	383	△34.3	320	△39.1	216	△34.3	34.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 —社 (社名) 、 除外 —社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年4月期3Q	6,388,740 株	26年4月期	6,388,740 株
② 期末自己株式数	27年4月期3Q	65,216 株	26年4月期	64,260 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年4月期3Q	6,323,830 株	26年4月期3Q	6,326,763 株

(注) 当社は、平成25年11月1日付けで普通株式1株に10株の割合で株式分割を行っております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本業績に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料P.2「当四半期決算に関する定性情報(3)連結業績予想に関する定期的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税増税前の駆け込み需要の反動減に加え、円安の進行による輸入品を中心とした物価の上昇が個人消費を圧迫しておりましたが、政府の経済政策や金融政策により緩やかな回復基調で推移しました。

このような経済状況のもと、当社は、一般社団法人日本ゴルフツアー機構(JGTO)レギュラーツアーを開催し、当社及び当社グループの知名度アップを図りました。また、移動体通信関連事業における販売基盤の強化・店舗運営の効率化、不動産事業における安定的収益の確保、リゾート事業の収益基盤の強化に努めてまいりました。当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高192億27百万円(前年同期比5.0%減)、経常利益98百万円(前期同期比75.0%減)、四半期純利益21百万円(前期同期比90.9%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(移動体通信関連事業)

携帯電話業界におきましては、携帯電話の加入件数が平成26年12月末現在で1億4,505万台に達しました(「電気通信事業者協会」より)。新型iPhoneの販売が好調ではあるものの、料金体系やサービスの差別化がなく、顧客獲得をめぐる競争は激化しております。

このような環境の中、当社グループは、店舗近隣への営業活動による集客力の強化、顧客満足度の向上に努めてまいりました。その結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は180億55百万円(前年同期比4.2%減)、セグメント利益は4億39百万円(前年同期比33.7%減)となりました。

(不動産事業)

不動産事業におきましては、景気の回復基調を背景に地価上昇の動きなどの改善傾向が見られ、不動産市況は底堅く推移しております。しかしながら、消費税増税後の停滞の可能性もあり、依然予断を許さない経営環境は続いております。当社グループにおきましては、市場の変化を敏感に読み取りながら、的確な対応を進めております。

当第3四半期連結累計期間における売上高は1億73百万円(前年同期比9.5%減)、セグメント利益は1億14百万円(前年同期比2.3%増)となりました。

(リゾート事業)

ゴルフ業界は、若手からベテランに至るまで幅広いプロゴルファーの活躍により、ゴルフが世代を超えて親しみやすいスポーツとして捉えられております。

このような環境の中、ゴルフコースの品質維持・サービス向上に努め、ゴルファーの快適なプレー環境をサポートすることで、集客力の強化に努めてまいりました。

当第3四半期連結累計期間における売上高は9億80百万円(前年同期比16.4%減)、セグメント利益は89百万円(前年同期比20.0%減)となりました。

(その他)

飲料水の販売やオリジナルゴルフ用品の販売、太陽光発電事業等を行っております。

(2) 財政状態に関する説明

(財政状態の変動状況)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、157億68百万円となり、前連結会計年度末と比べて56百万円の増加となりました。これは主に、土地の増加によるものであります。

負債は125億62百万円となり、前連結会計年度末と比べて1億61百万円の増加となりました。これは主に、短期借入金の増加によるものであります。

純資産は、32億5百万円となり、前連結会計年度末と比べて1億5百万円の減少となり、自己資本比率は20.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年12月8日に公表いたしました平成27年4月期の通期の連結業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,258,963	2,653,242
売掛金	2,742,444	2,767,138
商品及び製品	695,479	721,733
原材料及び貯蔵品	24,059	13,151
その他	194,991	290,262
貸倒引当金	△106	△111
流動資産合計	6,915,831	6,445,415
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,635,144	2,587,369
減価償却累計額	△1,177,549	△1,235,340
建物及び構築物(純額)	1,457,594	1,352,028
土地	6,397,205	6,951,808
その他	481,806	608,223
減価償却累計額	△210,713	△246,641
その他(純額)	271,092	361,581
有形固定資産合計	8,125,893	8,665,419
無形固定資産	154,476	154,419
投資その他の資産		
投資その他の資産	509,148	498,678
貸倒引当金	△26	△27
投資その他の資産合計	509,122	498,651
固定資産合計	8,789,492	9,318,490
繰延資産	6,560	4,163
資産合計	15,711,884	15,768,070

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年1月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,640,548	2,613,194
短期借入金	2,850,000	3,848,100
1年内返済予定の長期借入金	919,245	998,630
1年内償還予定の社債	139,000	142,000
未払法人税等	224,054	—
賞与引当金	73,799	29,500
その他	762,930	892,973
流動負債合計	7,609,578	8,524,398
固定負債		
社債	332,500	260,000
長期借入金	3,988,687	3,359,770
退職給付に係る負債	13,177	15,594
資産除去債務	43,342	45,038
その他	414,178	357,883
固定負債合計	4,791,885	4,038,286
負債合計	12,401,463	12,562,685
純資産の部		
株主資本		
資本金	693,858	693,858
資本剰余金	832,376	832,409
利益剰余金	1,739,691	1,634,289
自己株式	△45,467	△46,298
株主資本合計	3,220,458	3,114,260
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	77,095	65,745
その他の包括利益累計額合計	77,095	65,745
新株予約権	12,867	25,379
純資産合計	3,310,421	3,205,385
負債純資産合計	15,711,884	15,768,070

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年5月1日 至平成26年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年5月1日 至平成27年1月31日)
売上高	20,236,911	19,227,896
売上原価	17,306,868	16,791,875
売上総利益	2,930,042	2,436,021
販売費及び一般管理費	2,500,681	2,297,564
営業利益	429,361	138,456
営業外収益		
受取利息及び配当金	4,014	2,665
店舗開発支援金	8,702	—
ゴルフ場施設協力金	18,158	19,950
貸倒引当金戻入額	110	—
その他	32,232	33,804
営業外収益合計	63,219	56,420
営業外費用		
支払利息	93,835	93,088
その他	2,856	2,811
営業外費用合計	96,692	95,900
経常利益	395,888	98,976
特別利益		
固定資産売却益	4,961	8,748
投資有価証券売却益	18,786	24,978
受取保険金	12,590	—
その他	—	—
特別利益合計	36,338	33,726
特別損失		
固定資産売却損	11,219	—
固定資産除却損	1,555	252
減損損失	—	56,772
盗難損失	12,564	—
特別損失合計	25,338	57,024
税金等調整前四半期純利益	406,887	75,678
法人税、住民税及び事業税	154,572	35,008
法人税等調整額	21,301	19,575
法人税等合計	175,874	54,584
少数株主損益調整前四半期純利益	231,013	21,094
四半期純利益	231,013	21,094

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年5月1日 至平成26年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年5月1日 至平成27年1月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	231,013	21,094
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,747	△11,350
その他の包括利益合計	1,747	△11,350
四半期包括利益	232,761	9,744
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	232,761	9,744
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年5月1日至平成26年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	移動体 通信関連 事業	不動産 事業	リゾート 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	18,850,586	191,196	1,165,251	20,207,034	29,876	20,236,911
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	6,666	6,666	—	6,666
計	18,850,586	191,196	1,171,918	20,213,701	29,876	20,243,578
セグメント利益	662,961	111,749	111,651	886,361	18,625	904,987

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、オリジナルグッズ用品の販売、飲料水の販売等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	886,361
「その他」の区分の利益	18,625
セグメント間取引消去	△6,666
全社費用(注)	△502,432
四半期連結損益計算書の経常利益	395,888

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費、営業外収益及び営業外費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年5月1日至平成27年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	移動体 通信関連 事業	不動産 事業	リゾート 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	18,055,824	173,098	980,218	19,209,142	18,754	19,227,896
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	18,055,824	173,098	980,218	19,209,142	18,754	19,227,896
セグメント利益	439,417	114,344	89,270	643,032	2,043	645,076

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、オリジナルグッズ用品の販売、飲料水の販売、太陽光売電収入等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	643,032
「その他」の区分の利益	2,043
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△546,099
四半期連結損益計算書の経常利益	98,976

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費、営業外収益及び営業外費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。